

## 太白区ママたちの 事故体験談の巻



### 1. お鍋に触ってやけど!

この時期の子どもは何でも興味を持ちます。温泉旅行に行ったときに食事が出てきたお鍋に触ってやけどしてしまった方もいます。

**対応** 自宅内だけではなく、外出先にも危険はたくさんあります。イヤイヤ期はいろいろなものに興味を持って歩くようになり、動く範囲が大きくなっていく時期です。思いがけないものに興味を示し、触ると危険なものに触ってしまうことが多くあります。アイロン、炊飯器、湯沸しポット、ストーブなど子どもが興味を持ち触ってしまうとやけどする危険性があるものはたくさんあります。危険なものが子どもの手が届くところがないか注意してみてください。

### 2. ベランダで洗濯ものを干している 隙に窓の鍵をかけられてしまった!

鍵の開け閉めが好きな子どもはたくさんいます。少しの間、ベランダに出ている隙に鍵をかけられてしまった経験をしたことがある方がたくさんいました。子どもに鍵を閉められてしまったり、反対に知らないうちに鍵を開けてベランダに出ているということもあります。

**対応** 出入口の近くに子どもが来れないように囲いをする、サッシにストッパーをかけることなどで対策をすることができます!

### 3. タンスで遊んでいたら、タンスの下敷き!

保護者が見ていないうちに、タンスの引き出しを階段のようにして登り、タンスがひっくり返ってしまいタンスの下敷きになってしまったということがあります。引き出しを勝手に開けられないようにストッパーを付けたりして対策をしましょう。タンスの転倒防止をすることは事故予防だけではなく、地震の時の防災にもつながります。また、タンスだけではなく、室内の物干し台を倒してしまったという事故もありました。

**対応** イヤイヤ期は子どもの力が強くなっていく時期です。自由に動かせるものはこまめにしまうようにするといいでしょう!

### 4. 突然お母さんの手を離して 一人で走り出す!

イヤイヤ期は一人でなんでもしてみたい時期です。手をつなぐことを嫌がり一人で歩いたり、走り出したりすることもあります。駐車場など危険な場所では必ず手をつなぐようにしましょう。

**対応** 危険が少ない場所でも、日ごろから手を繋いで歩くようにする習慣をつけていくことで、嫌がることも減ってくるかと思えます。手を繋いでもすり抜けてしまう場合には、手首を握ってあげるといいでしょう!

### 5. すべり台から転落!

すべり台を逆行して足を滑らせ、手すりに顔を強くぶつけ前歯がぐらぐらになり歯科受診をすることに…そのほかにも、すべり台の上でほかの子どもに気を取られて、手すりに足が引っかかりそのまま滑り落ちてしまったなど、遊具での事故も多くあります。

**対応** 楽しい遊具も正しく使わなければ事故のもとです。自分の子どもだけではなく、他の子どもにも怪我をさせないよう遊具の正しい使い方やルールを教えてあげましょう。また、フード付きの洋服を着せないなど安全のための服装にすることで事故を予防することもできます!

不慮の事故は子どもが亡くなる原因の上位にあります。全国的にみると、不慮の事故による死亡原因は、0歳代では窒息、1～4歳代では、窒息、溺死・溺水が多くなっています。

#### H30年度 太白区乳幼児の事故実態調査

★6～7人に1人が病院受診が必要な事故を経験していました!

★多かった事故は

0歳代 1位:転落 2位:やけど 3位:転倒

1歳代 1位:やけど 2位:転落 同率:転倒

2、3歳代 1位:転倒 2位:転落 3位:ぶつかる

その他に、切る・刺す、誤飲、はさむといった事故が多かったです。

子どもに起こりやすい事故を知って、安全・安心な環境を整えていきましょう!

※メンバーがイベント等でお話いたします!ご希望の際はお声掛けください!

### 太白区保健福祉センター 家庭健康課

住所/仙台市太白区長町南3丁目1-15

電話/022-247-1111

子どもの事故予防

## イヤイヤ期 (1歳6か月～2歳6か月頃)

ホッ

と安心・安全な  
環境を!

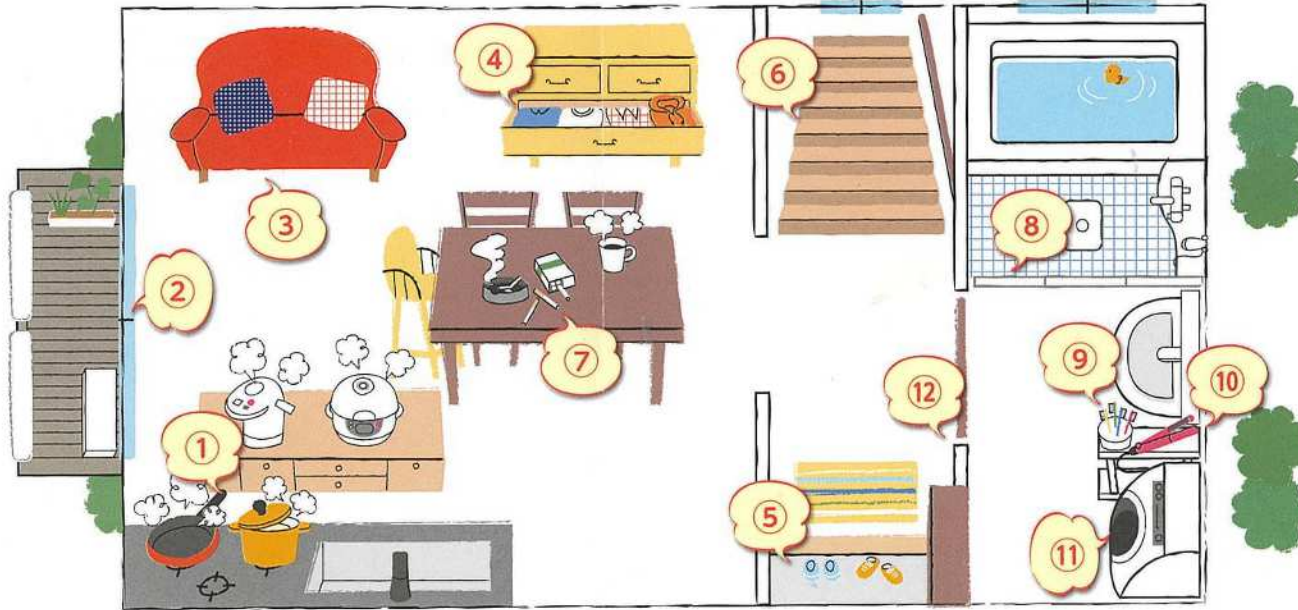


自分でできることが増え、なんでもやりたいという気持ちが芽生えてきます。いろんなものに興味が出てきた分、思わぬ事故が多くなる時期です。身近なところから、安心な環境を目指して事故予防に取り組んでいきましょう。

太白区家庭健康課母子保健係  
乳幼児の事故予防ワーキングメンバー作成



## 危険箇所を確認の巻



① 熱い鍋、ポットを触ってやけど → 事故体験談1へ

② ベランダへの出入り、子どもに鍵をかけられる  
→ 事故体験談2へ

③ ソファから転落  
→ ソファの上でジャンプをして転落したりします。遊んでいても危ない環境ではないが、お家の環境を整えていきましょう。

④ タンスの引き出しで遊び、タンスの下敷きに  
→ 事故体験談3へ  
(フード付きの服は事故のもととなりますので注意しましょう。)

⑤ おうちのひとの手を振り切って走り出す  
→ 事故体験談4へ

⑥ 階段からの転落  
→ 自由に上り下りができないよう柵をつけましょう。一緒に上り下りする際は、子どもの手を取るか、横か下側を歩きましょう。



他にも危険なことが  
潜んでいるニャ。  
子ども目線で家の中や外の  
危険がないかみてみよう!

⑦ たばこ(小さいもの)の誤飲  
→ 子ども手の届くところには置かないようにしましょう。

⑧ 浴室に子どもが簡単に出入りできる  
→ 鍵をつけ、自由に子どもが入り出せないようにしましょう。浴槽内に水を溜めたままにせず、蓋はたわみにくくしっかりしたものを選びましょう。

⑨ 歯磨きなど(箸や棒付きキャンディ)を口に入れたまま走る  
→ くわえたまま走らないように見守りましょう。

⑩ ヘアアイロンでのやけど  
→ 使用後も高温で危険です。コードも含め、子どもの手の届かない安全なところに置きましょう。

⑪ 洗濯機の中に入って遊ぶ  
→ 使用しない時は、蓋を閉めロックをかけたり、水を溜めたままにしないようにしましょう。

⑫ ドアのすき間に手や指を挟む  
→ 手や指がはさまらないよう、すき間カバーをつけたり、ドアストッパーを利用しましょう。また、大人が開閉する際も注意しましょう。

## 安全チェックの巻



項目	チェック欄		
	1回目	2回目	3回目
① 子どもを1人で家や車に残さない	/	/	/
② 自動車に乗る時は、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている			
③ 浴槽に水をためたままにしない			
④ 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く			
⑤ タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く			
⑥ ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く			
⑦ 暖房用具(ストーブ・こたつなど)の熱が直接触れないようにしている			
⑧ ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く			
⑨ 階段に転落防止用の柵を取り付けている			
⑩ お箸や歯ブラシなどをくわえたまま走らせない			
⑪ ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない			
⑫ すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている			

健やか親子21 事故防止対策より

トイレトーパーの芯と  
ほぼ一緒なんだニャ!

この円の中を通る物は  
子どもの口に入ります  
(直径39mm)  
この円より小さいものは  
手の届くところに  
置かないように  
注意しましょう



子どもをそっと見守るネコ忍者